



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 308 号

(創刊 1988.12.14)

2015.05.03.

「危険道路」南線計画 追及第 2 弾

—南線は市のライフラインと交差し
その直下僅か 30cm を通る—

連協は先般 3 月 10 日に国交大臣、東日本高速道路(株)社長及び横浜市長宛文書で、横環南線は横浜市民に飲料水を供給する施設である日野ずい道と交差してその直上 6m に敷設され、そこに 1日 5 万台を超える大型車中心の車両が走行する極めて危険な計画である旨を指摘した上で、市民の命と生活を守るために三者協力して専門家と関係住民を交えた協議会を設置して審議を行うよう求めた。

然るに、これに対して横浜市長から見当外れの回答があったほか、他の二者からは何の回答もなく完全無視の状態である。このような状況の中、南線計画にはさらに新たな危険のある事が判明した。すなわち、南線計画は横浜市の重要なライフラインの一つである金井汚水幹線と交差し、その僅か 30cm 真下に建設されるというものである。

金井汚水幹線の存在する笠間地区は地質学的に地盤の弱い南線沿線の中でも特に地盤の脆弱な地域であり、古老の話によると以前は沼地帯に舟が浮かび白鳥が泳いでいたと言われ、現在でも大雨の時再々洪水になる危険なところである。このような地域に直径 15m のシールドトンネルを掘削すれば、マシンの進路が 2%ずれただけで汚水幹線との間の 30cm の地盤は完全に崩れ落ちるのである。たとえ掘削が無事に終わったとしても、6 車線のトンネル内を 1 日当たり 5 万台以上の車が走行することによる絶え間ない振動で僅か 30cm の厚みの地盤が崩れ落ちることは十分起こりうることである。このため私達は、上記 3 者にこのことを伝えるとともに前回 3 月 10 日に要請した危険防止のための審議機関として協議会を早急に設置するよう再度強く求めた。

政治、行政の最大の任務は、国民の命と生活を守ることであり、道路建設においても計画の危険性が明らかになった場合、事業者は全てに優先して危険防止に当たるべきであり、それをしないのは国民への重大な背反行為である。

その点で 3 月 10 日と今回、連協が要請した協議会設置を強く求めるものである。

(法都計部)

高尾の自然をまもる市民の会 第 27 回総会

4 月 5 日(日)に地元高尾で実質的には最後となった総会が開催されました。長い間道路運動の先駆者として我々の教科書的存在の高尾の運動も、皆様ご承知のとおり 3 年前に乱暴にも高尾山を貫通され、すでに 4 万台の交通量を計測しています。

この度圏央道を見上げる山の上の事務所は閉鎖し、再起を期して橋本事務局長の自宅に移しました。今後は環境影響調査と HP の更新は続けると共に、今まで得た運動知見を全国的に発信し支援を続けることとなります。

長い間お世話になった連協として会長・比留間が出席し、挨拶しましたことを報告します。高尾の皆様、本当にご苦労様でした。

又、会報に連載された浅見、川村両先生の著書「失われた日本の風景」を連協として購入しましたので皆様ご覧下さい。(比留間)



(吉山会長の挨拶、議長は天狗さん)

第 40 回全国公害被害者総行動 「4.23 神奈川共同行動」報告

毎年6月初めに日比谷で行われている全国公害被害者総行動(総決起集会)は、今年第40回を迎えます。その記念行事として各地区で各団体をつなぐ連鎖集会在行われています。

神奈川地区では「4.23 神奈川共同行動」として、4月23日に関内にて公害被害者等の団体が集結し共同行動が行われました。

連協は中心的団体の一翼を担い、関内駅前の早朝ビラ配り、国交省横浜国道事務所に向き「公害をもたらす南線の撤回要請」、市役所、東電、県庁への公害被害者救済申入れ、市民への公害被害アピールパレード、開港記念会館での350名参加の公害の現状と救済を求める集会等に参加しました。

早朝ビラ配りやパレードでは、連協の横断幕「横環南線の白紙撤回」の文字を目で追いながら通り過ぎる人達が多く見られました。



(関内周辺をデモ行進)

国交省横浜国道事務所に南線撤回申入れにご一緒頂いたご婦人の一人は御自身がアスベスト癌患者、もう一人の方はご主人がアスベスト癌で亡くなられたと云う方でした。

明日にも大気汚染や公害による被害者になるかもしれない吾身や孫子を予感します！

じっとしては何も動きません。

横環南線は不要不急の公害道路であることを声高に叫んでいきましょう。

(事務局長 長谷川誠二)

対外活動報告

- 04/15 全国公害被害者総行動
「4.23 神奈川共同行動」打合せ (1名)
- 04/16 同上に関する記者会見
(県庁記者クラブ、会長・事務局長参加)
- 04/18 シンポジウム「震災から安全・安心な社会づくりに向けて」
(KGU 関内メディアセンター、5名参加)
- 04/20 市環境創造局と笠間地区下水道離隔問題の協議(会長他3名)
- 04/23 「4.23 神奈川共同行動」
 - ①関内駅前ビラ配り
 - ②横浜国道事務所南線撤回要請行動
(以上、会長他3名参加)
 - ③横浜地裁～市役所～東電間パレード
 - ④開港記念館での集会
(以上、会長他8名参加)
- 04/24 第21回神奈川県公害調停
- 04/28 国交大臣、横浜市長、NEXCO 東日本社長に「南線計画の更なる危険が判明」として協議会設置の要請書を提出
- 04/28 横浜市長に「南線と金井汚水幹線との交差に関する事業者との協議の見直しを求める」要請書を提出
- 04/28 社会資本整備審議会に対し「公共用地分科会の委員選任等について」の要請書を提出

活動予定

「なくせ公害、守ろう地球環境」をスローガンに、公害被害者総決起集会在記の如く行われます。行動参加で意思表示をしましょう。

第40回全国公害被害者 総行動デー

- | | | |
|--------|-------|--------------------|
| 6/3(水) | 11:00 | 大臣交渉 |
| | 12:00 | デモ行進
(霞門～日比谷公園) |
| | 14:00 | 一斉各省交渉 |
| | 18:00 | 総決起集会(日比谷公会堂) |
| 6/4(木) | 08:30 | 早朝宣伝 |
| | 10:00 | 財界各省交渉 |
| | 12:00 | まとめの行動 |